

研修名	保育内容研修9
	平成27年10月29日(木) 10:00~12:30
講演	「子どもが育つ社会のデザイン」
講師	久保 健太 氏

1 講演要旨

教育とは

A：その社会が必要としている能力を身につけさせておくこと。

→時代や社会に左右される。

B：どんな社会であったとしても人間として生きていく限り必要なものを身につけさせておくこと。

→いつの時代にも必要な能力。

Aに振り回されずじっくりとBの力を育むことも重要。

Aを急いで幼児期にやるとBがうまく育たないことがある。

幼児教育の役割はBである。

1. 社会で生きていく能力・他の人と協力しながら生きていく能力。
2. 自分の「できること」「できないこと」を「分別」し、「できないこと」を人をお願いする能力。

(自分の無知や無力を受け止める、無力をさらす。)

Bを育てるためのやり方

「正統的周辺参加」

- ① 正統なメンバーとして認められている。
- ② 本物の道具を使った本物の活動。
- ③ そこには本物の道具を使いこなすコミュニティーが必要。
→その人と一緒にいたい欲求。様子を見ていて感染してしまう。

「エンゲストロームの学習論」

- ① やりたい
- ② やりたいけどできない
この段階を待つてあげられているか？
今はできないけど頑張ればいつかできる。(自信)
- ③ やった！できた！
- ④ いつでもできる



研修名 食育研修2

平成27年10月29日(木) 13:30~16:00

講演 「食育を保育過程にどう位置づけるか ~5領域と食育~」

講師 布施 仁 氏

1 食育に取り組むためのポイント

- ① 味覚・五感を豊かにする。
- ② 噛む力・咀嚼力
- ③ 健康状態がわかる。
- ④ 生活リズム
- ⑤ みんなで食べる。
- ⑥ 作物を育てる・世話をする。

2 保育内容の5領域のねらい

「生きる力の基礎」である心情、意欲、態度を育む。
＝食育のねらい「食を営む力」を育む。

3 保育者の責務

- ① 提案 自発性、自主性を促す遊びと活動を子どもの視点で展開。
- ② 演出・脚色 乳幼児の年齢に合わせて内容をアレンジ。

4 クッキング、調理は「総合保育」

5領域すべてを盛り込んだ保育の内容として実践できる。

2 感想

午前の講演は、「子どもが育つ社会のデザイン」ということで、スライドや映像を見せてもらいながら、楽しく学ぶことができました。ついつい、「早く早く」と子どもたちをせかしてしまっている自分の保育を振り返り、反省する機会にもなりました。子どもたちの「やりたいけどできない」という気持ちに寄り添ったり、待ってあげたりしながら、「今はできないけど、頑張ればいつかできる。」という自信をつけさせてあげられるようにしたいと思いました。

午後の講演は、園で実践されている食育の取り組みをもとに、どのように保育とつなげていくかということについて、学びました。自分の園でも実践してみたいと思うような取り組みが多くあり、とても参考になりました。

(記録 たんぽぽ保育園 井上美里)